



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 神鋼商事株式会社

コード番号 8075

URL <http://www.shinsho.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 育廣

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 阿野 健二郎 (TEL) 03-3276-2036

四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績 (平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	552,283	△9.3	3,277	△25.8	3,888	△16.0	2,745	△7.5
28年3月期第3四半期	608,818	△5.0	4,418	△9.4	4,628	△2.4	2,968	△3.4

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 992百万円(△34.3%) 28年3月期第3四半期 1,509百万円(△68.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	310.11	—
28年3月期第3四半期	335.27	—

※平成28年10月1日を効力発生日として、普通株式10株を1株とする株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	250,772	45,559	17.1
28年3月期	245,594	45,250	17.1

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 42,978百万円 28年3月期 42,092百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
29年3月期	—	4.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	60.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成28年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、平成29年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金は「—」と記載しております。

詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成29年3月期の連結業績予想 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	707,000	△10.7	3,900	△33.1	4,600	△22.1	2,900	△16.7	327.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成28年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、平成29年3月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、当該株式併合の影響を考慮しております。

詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期3Q	8,860,562株	28年3月期	8,860,562株
29年3月期3Q	5,816株	28年3月期	5,652株
29年3月期3Q	8,854,865株	28年3月期3Q	8,854,940株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※平成28年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算出しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来予測情報の適切な利用に関する説明)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当及び業績予想について)

当社は、平成28年6月28日開催の第98回定時株主総会において、株式併合、単元株式数の変更について承認可決され、平成28年10月1日を効力発生日として、普通株式10株を1株の割合で株式併合を実施し、単元株式数を1,000株から100株に変更しております。これに伴い、平成29年3月期の1株当たり期末配当金予想及び通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、当該株式併合の影響を考慮しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では個人消費を背景に緩やかな成長を続けておりますが、中国をはじめとする一部新興国及び資源国等の減速により力強さに欠く状況で推移しました。また、米国の今後の経済・金融政策に関する動向、英国のEU離脱問題の影響等、先行きは不透明な状況となっております。

わが国経済においては、企業の設備投資や個人消費・所得環境に弱さがありましたが、一部で輸出環境等に改善の動きが見られました。足元では円安、株高、資源価格の上昇が見受けられるものの、景気は未だ予断を許さない状況となっております。

このような環境の下、当社グループは主要需要家である鉄鋼、自動車、半導体、空調等各業界向けの取扱いは底堅く推移したものの、前年同累計期間と比較して資源価格や地金価格の下落、円高等の影響を受けました。

この結果、売上高は5,522億83百万円（前年同四半期比9.3%減）、営業利益は32億77百万円（同25.8%減）、経常利益は38億88百万円（同16.0%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は27億45百万円（同7.5%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①鉄鋼セグメント

鋼板製品は国内向けは在庫調整が進んだことにより取扱量は増加しましたが、価格は市況の低迷により下落しました。また、輸出向けは取扱量は横ばいであったものの、価格は円高の影響等により下落しました。線材製品は国内外ともに取扱量は横ばいでしたが、価格は国内向けにおいては自動車向けの下振れ、輸出向けにおいては急激な円高等により、それぞれ下落しました。

この結果、売上高は2,082億61百万円（前年同四半期比7.0%減）、セグメント利益は20億57百万円（同26.2%減）となりました。

②鉄鋼原料セグメント

輸入鉄鋼原料は配船の期ずれの影響から取扱量が減少し、価格も下落しました。冷鉄源は取扱量が減少し、価格も下落しました。合金鉄、チタン原料は取扱量が減少しました。

この結果、売上高は1,560億56百万円（前年同四半期比17.6%減）となり、セグメント利益は6億50百万円（同2.0%減）となりました。

③非鉄金属セグメント

銅製品は空調用銅管、自動車向け端子材用銅板条の取扱量が増加しました。アルミ製品はハードディスク用ブランク材、車両船舶向けアルミ板条の取扱量が減少しました。また、非鉄原料はアルミ再生塊の取扱量が増加しました。しかしながら、総じてアルミ・銅地金価格の下落の影響を大きく受けました。

この結果、売上高は1,451億36百万円（前年同四半期比10.1%減）となり、セグメント利益は11億4百万円（同18.2%増）となりました。

④機械・情報セグメント

機械製品は製鉄所向け設備及び部品、化学会社向けプロセス機器等の取扱いは増加しましたが、タイヤ機械、建設機械（クレーン）用部品の取扱いが減少しました。情報関連商品は太陽電池関連機材、ハードディスク関連機材等の取扱いが減少しました。

この結果、売上高は480億99百万円（前年同四半期比0.4%増）となり、セグメント利益は1億38百万円（同18.7%減）となりました。

⑤溶材セグメント

溶接材料は国内の取扱量は建築鉄骨向けが堅調に推移し、建設機械向けは横ばいとなりましたが、造船、化工機向けが減少しました。一方で、輸出は韓国LNG案件向けの取扱量が増加しました。溶接関連機器は鉄骨溶接ロボットシステム、汎用溶接機の取扱いが好調に推移しましたが、生産材料は溶剤原料、ステンレスフープ材の取扱量が減少しました。

この結果、売上高は321億49百万円（前年同四半期比11.3%増）となり、セグメント利益は1億80百万円（同61.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は2,507億72百万円となり、前連結会計年度末比51億77百万円の増加となりました。これは主に受取手形及び売掛金の増加と保有株式の時価の変動による投資有価証券の増加によるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は2,052億12百万円となり、前連結会計年度末比48億69百万円増加となりました。これは主に短期借入金の増加によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は455億59百万円となり、前連結会計年度末比3億8百万円の増加となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上と保有株式の時価の変動によるその他有価証券評価差額金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成28年9月30日公表の業績予想から変更はありません。なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法について、当社は原則的な方法によっております。但し、一部の関係会社においては、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,257	11,077
受取手形及び売掛金	140,712	158,381
商品及び製品	29,942	25,551
仕掛品	475	496
原材料及び貯蔵品	799	586
前払金	10,109	9,446
繰延税金資産	724	636
その他	4,665	3,043
貸倒引当金	△94	△78
流動資産合計	204,593	209,142
固定資産		
有形固定資産	9,977	8,387
無形固定資産	896	792
投資その他の資産		
投資有価証券	26,969	29,627
その他	3,316	3,091
貸倒引当金	△158	△270
投資その他の資産合計	30,128	32,448
固定資産合計	41,001	41,629
資産合計	245,594	250,772
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	118,183	117,916
短期借入金	32,878	39,548
未払法人税等	492	323
賞与引当金	813	471
その他	17,509	17,487
流動負債合計	169,877	175,747
固定負債		
長期借入金	26,412	24,822
役員退職慰労引当金	56	76
退職給付に係る負債	732	791
その他	3,264	3,774
固定負債合計	30,466	29,465
負債合計	200,343	205,212

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,650	5,650
資本剰余金	2,703	2,703
利益剰余金	31,588	33,626
自己株式	△17	△18
株主資本合計	39,924	41,962
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,352	3,274
繰延ヘッジ損益	△62	△154
為替換算調整勘定	878	△2,103
その他の包括利益累計額合計	2,167	1,016
非支配株主持分	3,158	2,581
純資産合計	45,250	45,559
負債純資産合計	245,594	250,772

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	608,818	552,283
売上原価	588,943	533,204
売上総利益	19,875	19,079
販売費及び一般管理費	15,456	15,801
営業利益	4,418	3,277
営業外収益		
受取利息	101	69
受取配当金	802	600
為替差益	—	594
デリバティブ評価益	318	—
持分法による投資利益	253	647
雑収入	294	343
営業外収益合計	1,770	2,256
営業外費用		
支払利息	486	497
売掛債権譲渡損	310	183
為替差損	569	—
デリバティブ評価損	—	777
雑損失	194	186
営業外費用合計	1,560	1,644
経常利益	4,628	3,888
特別利益		
固定資産売却益	3	—
投資有価証券売却益	18	—
特別利益合計	21	—
特別損失		
投資有価証券評価損	—	10
固定資産除売却損	15	—
会員権評価損	2	—
関係会社整理損	—	16
特別損失合計	17	27
税金等調整前四半期純利益	4,633	3,861
法人税、住民税及び事業税	1,343	1,208
法人税等調整額	249	107
法人税等合計	1,593	1,315
四半期純利益	3,039	2,545
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	71	△200
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,968	2,745

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	3,039	2,545
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△329	1,949
繰延ヘッジ損益	30	△93
為替換算調整勘定	△994	△3,142
持分法適用会社に対する持分相当額	△235	△267
その他の包括利益合計	△1,529	△1,553
四半期包括利益	1,509	992
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,665	1,594
非支配株主に係る四半期包括利益	△155	△601

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鉄鋼	鉄鋼原料	非鉄金属	機械・情報	溶材	計			
売上高									
外部顧客への売上高	223,908	189,435	161,404	47,926	28,890	651,566	267	△43,015	608,818
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	4	—	—	4	—	△4	—
計	223,908	189,435	161,408	47,926	28,890	651,570	267	△43,020	608,818
セグメント利益又は 損失(△)	2,786	664	934	169	111	4,666	△28	△9	4,628

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおりません。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鉄鋼	鉄鋼原料	非鉄金属	機械・情報	溶材	計			
売上高									
外部顧客への売上高	208,261	156,056	145,133	48,099	32,145	589,696	294	△37,707	552,283
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	3	—	3	7	—	△7	—
計	208,261	156,056	145,136	48,099	32,149	589,703	294	△37,714	552,283
セグメント利益又は 損失(△)	2,057	650	1,104	138	180	4,130	△19	△222	3,888

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおりません。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。